特定非営利活動法人　Ｆ．Ｏ．Ｐ

平成２５年度　活動報告

（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）

誕生から、６歳。みなさんのおかげで
また一歩前にすすむことができました。

Farmer's Heaven

green bird

FOP 事業コンセプト・・・

南信州に存在する生きるために必要な資源、社会学的（生き方。コミュニティー。歴史。文化。）環境学的・生物学的（多様性生物、自然、地球）経済学的（生産者・販売者・消費者　マーケット）の３つ視点から調査・研究 し、南信州に関わる人たちが、南信州に誇りと感謝と喜びを感じられるように伝えていきます。また、南信州の誇り高き資源・環境に意識を持つ人材を創造していきます。

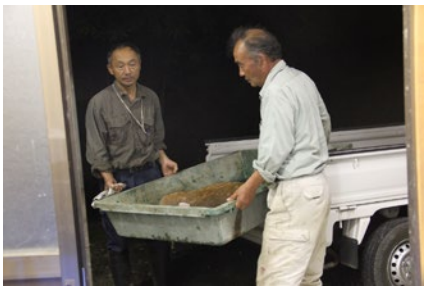
25 年度　活動ビジョン・・・「里山の暮らし・地域資源掘り起こし・協働」
主な活動↓↓↓↓

中川村
鳥獣害対策から獣肉利活用

昨年度、総務省の緑の分権改革推進事業として中川村と取り組んだ獣肉研究。25 年度は解体施設が完成。事業開始の頃は猟友会の皆さんの理解や関わりがあまり見えなかったのですが、今年度になって 10 名ほどの皆さんが食品管理衛生の講習をうけるまでに関わりが向上し、猟友会の有志から加工組合も設立しました。なかでも、組合員さんが長年研究してきたジャーキーの評判がとてもよく、問い合わせも殺到とのこと。ずいぶんと前進をしたように感じました。でも、ジャーキーは、すね肉などの部位を使うため、ロースやモモなどの価格も高めな肉の行き先ができていない現状。昨年度の研究事業に関わってもらった皆さんと中川村の皆さんが継続して連携できるような切欠を作るため、レストランでの限定メニュー提案、シェフと一緒に加工品の試作から販売までを行ないました。

解体

部位をそんなに細かくせず、また、筋取りなどもせず、鮮度を失わないように提供してほしい。とレストランからの要望。いじりすぎると鮮度がなくなるんですね！



レストラン限定メニュー

日本で最も美しい村の恵みとして、鹿肉と一緒に野菜や自然環境なども伝えるメニューの提案。大変好評な限定メニューになったそうです。

南麻布　ビストロ アンクゥ　ＷＥＢサイト BLOG より

日本で最も美しい村

〝長野・中川村〟の「秋の恵み」をいただく一週間

南アルプスと中央アルプスの谷間に位置する、長野県上伊那郡・中川村は、
日本で最も美しい村の一つに認定されている、自然豊かな村。
激しい寒暖の差と、南アルプスの清らかな水がもたらす、旨みのつまった野菜や果物。
そしてその大自然で、のびのびと育った野生の鹿が、un coup にやってきます！！
そこで、来週 10/17(木) ～ 27(木) の一週間、un coup では、日本で最も美しい村〝長野・中川村〟の「秋の恵み」をふんだんに使った特別メニューをご用意いたします。

鹿のテリーヌと南水梨の赤ワイン煮”

・・・鹿肉の旨みがギュッと詰まったテリーヌに、南水という名の梨の赤ワイン煮を添えて…

“鹿ロースのポワレと中川村のビオ野菜、ソース グラン・ヴヌール”

・・・濃厚な旨みの希少なロース肉には、山葡萄のジュレで仕上げたソースを合わせます。色とりどりのビオ野菜もたっぷりと！

などなど、、売り切れ御免の一品もございますので、是非ご予約はお早めに…！

終了後のブログ

長野・中川村の秋の恵みを味わうフェアも、おかげさまで好評のうちに終了しました！

あまりに好評だった為、こちらの鹿ロースは早々に売り切れ・・・

フェアは終わったものの、鹿メニューは引き続き、良い鹿が入り次第ちょこちょことお出ししていくつもりでおりますので、お楽しみに！

シェフの伊那谷ツアー

鹿肉をキッカケに野菜を使っていただき、更に伊那谷の環境や農園を実際に来て見て感じてもらうなど、発展していきました。今後、猟師さんや農家さんとの交流なども含めた食や環境にまつわるツアーなどの展開もできるのでは？と感じています。

オーガニックハーブ　無添加　鹿ソーセージづくり

さんさんファーム ×Le joujou

鹿肉・・・9 月 29,30 日に捕獲されたもの（罠）

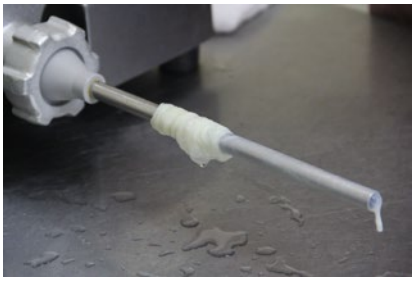
部位・・・スネ、肩、が大半　モモ肉少々

ハーブ・・・中川村大島農園さんの有機ハーブなど

→ 鹿 5 ： 5 黒豚の割合で製造

シェフから配合の提案、1 回試食を経て、ハーブの量を増やすなど工夫をしていただきました。

腸詰め後、4 時間加熱（蒸気ボイル・燻製）一晩寝かせてパック詰め



市販に多い人工腸ではなく、天然の腸（羊）を使用しているため破損も多い。

天然のもの、手作業のため腸の長さや太さも均一にならず、肉の量もその時によって変わってくるためロスも多い。これらの二次、三次加工も検討。

今回はハンバーグにしてみましたが大変に柔らかく美味しくいただきました。

東京 自由が丘　女神祭り出店

商店街振興組合など、自由が丘の商店会が催す地域最大のイベントといわれる祭り。延べ数十万人の来場者といわれています。1973 年に始まり今年で 41 回目。

両日 11 時～ 18 時の出店でした。通行客の少ない場所で鹿・黒豚合わせて 300 本販売。鹿は数時間で完売。黒豚も 2 日目午後過ぎには完売でした。

⇒ 鹿というポップを見て「鹿だって !!」と立ち寄る人が多数。またカラダに良いものを求めて、オーガニックや無添加・無農薬ということが理由で立ち寄る人、食べて美味かったという口コミで買いにくる人、二日目のリピートも多くあり、子供から大人まで、男女問わず「おいしい」「食べやすい」と大好評でした。

日本で最も美しい村のパンフレットや今回協力してくださった「さんさんファーム」のパンフレットなども持ち帰る人、伊那谷、中川村、南アルプスなどに興味を持ってくる人もいて、こうした食の発信が地域の魅力ＰＲにもなることを実感しました。

中川村どんちゃん祭

国の補助金が不採択となったため、獣肉研究も一時ストップしかかったので、せっかくの関係が途切れ、士気が下がってしまうのは悲しい！とにかく顔を合わせよう！と思い、お祭にでかけました。猟師さんの笑顔に再会でき、ほっ。

リニアシンポジウム
inadani.tv 伊那谷放送局

インターネット生放送

リニア新幹線の駅の場所をめぐり、様々なアクションのあった飯田市。ＪＲの発表をうけ、イメージがより鮮明になってきて、地域の人やこの事業の影響を背負う次世代がどのくらい認識、理解しているのかを考えた仲間が開催したリニアシンポジウム。そこから見えてきたのは、リニアへの関心だけではなく、地域社会への関心度でした。県庁での担当者との対話するところまで、歩みよっていきました。

リニア沿線上で、最も影響をうける住民の皆さんの不安の声。説明会の様子、工事の内容、どんな影響があるのか、いいも、悪いも知ることからはじめ、対話のある地域づくりをしていこう。地域の将来を見つめてみよう。そんな会となり、地域のことを真剣に自ら語り合う若者たちの存在は、この地域の未来の力、そのものなんだと感じました。

伊勢神峠を愛する会

主要道路の変化によって衰退してきたという伊勢神峠の皆さんと未来を考える事業に２年前参加しました。当時は、「仕事も忙しいし、そんな暇がないから活動なんてできない。」と言っていた皆さんが、秋葉街道　伊那市長谷（旧長谷村）をこよなく愛し、ルーツを学び、汗水流し消えかけた街道を繋げなおして、人と人を結びながら、伝え続けてきた「秋葉街道道普請隊の隊長　高坂さん」の活動を視察後、その影響を受け、もう一度学ぶところから始めよう！と活動を再開。今年度、復活したお祭りの様子を見に行ってきました。皆さん、笑顔で活動していて、とてもうれしかったです！お金がない。暇がないのではなく、活性化はまず人が集うことから始まるんだということを、教えてもらいました。

成人式・映像企画・撮影の協力

鼎地区公民館の成人式実行委員会の企画に協力し、文化センターの壁面に大きなスクリーンが登場。成長した地域の若者たちの気持ちを表現し、地域の人たちにも大変に喜んでいただきました。（カメラマンの砂場さんには、スナップ写真撮影の協力をいただきました。）

遠山木沢
お茶楽隊

遠山の皆さんとの繋がりの場づくり。茶畑の復活プロジェクト。無農薬で落ち葉肥料づくりにも挑戦。まるごと飲んでも安心で、地球にも身体にも優しいお茶づくりを目指しています。何より、神々の棲むこの郷の皆さんとの集いが宝物。七色百田同様、みんなの手と心を待ってまーす！美味しいお茶を飲みまいか！

落ち葉拾いから、
堆肥づくりまで

鶏と麦の宴’２０１４　～幸せな鶏編～

鶏と麦を育てるファミリーに逢ううちに
生まれた企画。
命と向き合うってどんなことなのか。
美味しさはどこから始まっているのか。
みんなとシェアしたい。という
気持ちが、食育イベントとなりました。

思わず涙があふれたり、目を覆いたくなったり。命と向き合うには、ちょっと勇気がいりました。でも、私たちは生かされてきたということを家族や仲間と実感でき、参加した皆さんにとって、とても有意義な時間となったようです。持ち帰ってそれぞれの家庭で作られた命のスープは、本当に美味しかった！！！と報告がありました。

結い村

七色百田

素敵な棚田を残したい。と、始まった「七色百田」のお米づくりも２年目となりました。荒れ果てていた棚田は、みんなの手によって目覚め、復活し、たくさんの命を育む大地となっています。今年は営農部も立ち上がり、みんなを先導をしてくれて、本当に美味しくて立派なお米ができました☆

結い村
七色百田

今年は、もみから育てたり、古代米（赤米）に挑戦したりと営農部のおかげで、新しい試みもありました。子供たちのいきものみっけも相変わらず元気に同時開催！多様な命の存在に、みんな癒されています。

ダンスミュージカル 「だれもしらないみつばちのものがたり」制作開始！

Farmers Heaven の名づけ人でもあり、キャンドルナイトの呼びかけ人の環境広告サステナ代表のマエキタミヤコさんより、「ミュージカルつくらない？」と連絡が来て、喜んだのは束の間、試行錯誤悩み悩み約２年。
ＦＯＰ初！自然環境と人間生活の調和を目的とした市民や NPO・NGO の活動を支援する、独立した民間基金、に助成してもらることになり、あたためあったため、やっと動き出しました。
「著書「A Tale Of One Queen Bee ～ミツバチからみた蜂群の大量死～」(NPO 法人 TreasureGardenPlanet 代表理事 後藤純子）のダンスミュージカルを制作し映像作品にします。蜜蜂の役を演じることで、ミツバチの目線に立ち、そこから見えた環境の現状（ミツバチの生態・大量死）から、これからの生き方（多様な命が存在する豊かな里山ビジョン）を考えられるような作品を目指します！！

チラシと映像で、呼びかけました。

日本みつばちの全国総会に参加
（@中川村）

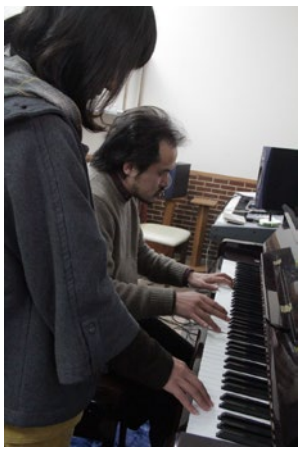
自然農を推進するＪＡはくいにて
みつばち講演会の際、ＰＲ。（@能登）

久々のＰＲ。審査員が名だたる方ばかりで、緊張しまくりの杉浦。（@東京）

西洋みつばちの取材
（@山本）

西洋みつばちの見学
（@東京）

楽曲制作　３曲完成。



ダンス講師との打ち合わせ。

facebook ページもできました☆

朗読会と公演の際、ＰＲ。（@東京恵比寿　空と麦）

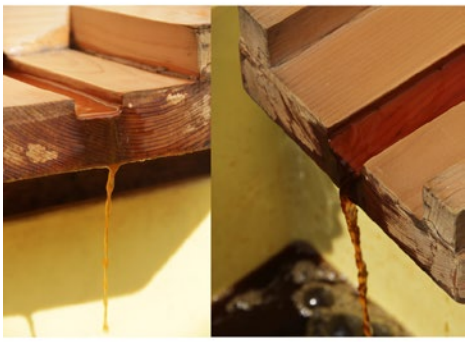
マエキタミヤコさん、養蜂家の後藤純子さん（原作著者）からはじまり、
問題解決のための具体的・効果的・創造的なアクションを重視した活動を支援する民間基金　アクトビヨンドさんの支援。
そこから、遠くは能登、埼玉、秋田など様々なところの仲間がつながっていきました。生業も様々です。でも、共通しているのは、次世代にバトンタッチできる社会づくり。命が喜び合う平和な社会づくり。そのための生き方。役割分担を皆が真剣に考え、それぞれの地域で実践していました。作品が完成した際には、伊那谷のすばらしい文化と共に、全国の仲間のところで発表していきたいと思います。

暮らしを、自分の手に。

ほぼ毎日食べている日本の誇るべき文化。醗酵調味料。長年見てきたのに、どうやって作られているのか・・・知らない。・・・あれあれ？文化継承っていったいなんだ？？ずいぶんと私たちは、誰かにゆだねすぎていたんじゃなかろうか。・・・ということで、自分たちの暮らしを、自分たちの手に取り戻していこうと思います。つなげる、つたえる。ってこういう小さなことからなんだなぁとつくづく思いました。

お味噌づくり

お醤油づくり



こんなちっちゃな営みから、日本の歴史や、たとえば経済のしくみやらまで、不思議といろんなことが見えてきます。
　家族が集い、学び。未来を見つめる。とても、とても、豊かな時間の過ごし方を知りました。

green bird 南信州チームは、おそうじという GREEN アクティブを通して、自分の住んでいる街、人、環境、暮らしを好きになる仲間がもっともっと増えていくことを願って活動しています。誰でもできちゃうごみ拾いですよー。いつでもどうぞー。という扉を開けて６年目突入。今年度、ゲレンデバードに加わり、「川下リバード」も企画されました！

南信州チーム

green bird

Keep Clean,Keep Green **

５３０の季節は気持ちいいし！

ゲレンデも気持ちいーーーー！！

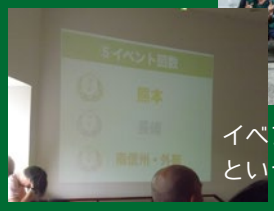
手話を教えてもらったり。　分別もお得意になったり。

とよおかまつり

雨の中、おもいついたのはグリーンバードＰＲをみんなでつくってよーっ企画！おそうじ体験ボードと一緒に、ポスターを作ってもらったり、自分のグリーンバード宣言を書いてもらいました。

アースデイ東京にて。

全国
リーダー会議
@表参道



イベント回数の多いチーム！
ということで表彰されました！

２５年度を振り返って。

毎年、毎年、振り返っては、まーよくやったなぁと思えるから
事業報告まとめは、あー！！！めんどうだぁぁ！！！と始まっ
ても、終わったあとに、なんともいえない有難うでいっぱいに
なるのです。
あーーーーーーー。もっとゆっくりしたい？とか思っても、み
んなにまた、逢いたくなるのです。
学べは学ぶほど、知れば知るほど、想像力を発揮すればするほど、
世の中の課題は増えていって、いったいどうしてこんな世にしちゃったんだろう。と反省の日々。
でも、どうでしょう。以前よりずいぶんと、答えは見えてきたし
みんな、着々と豊かな世界に向かって歩き進んでいるように思います。
世代をこえて、集えること。そこに、本当の意味での「生き方」の導があること。本当の豊かさ
が大地にあることを気づいた私たちの未来は、ほんの少し、成長しているでしょうか。

さて、きっと、誰もが想像しなかっただろう７期目に突入しました。
あー、あの人たちならやってくれるかも。というように頼ってもらえるようにもなってきたかも
しれません。そんな７期目。
　　みなさま、どうか愉しんで生きましょう！それぞれの得意を活かしあって。
感謝しています。

ＮＰＯ法人ＦＯＰ　代表理事　杉浦 歩実